



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 恵和株式会社 上場取引所 東
コード番号 4251 URL <https://www.keiwa.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役会長兼CEO（氏名） 長村 恵式
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員 管理本部（氏名） 吉岡 佑樹（TEL） 03(5643)3783
本部長代理兼財務部長
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	9,648	30.5	2,063	248.3	2,567	176.7	1,577	152.1
2023年12月期中間期	7,394	△27.6	592	△76.0	928	△71.0	625	△75.9

（注）包括利益 2024年12月期中間期 1,918百万円（154.9%） 2023年12月期中間期 752百万円（△73.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	81.83	—
2023年12月期中間期	32.48	—

（注）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	30,058	21,811	72.6
2023年12月期	29,267	20,357	69.6

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 21,811百万円 2023年12月期 20,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,798	12.7	3,146	28.1	3,275	18.8	2,192	10.6	113.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	19,285,152株	2023年12月期	19,270,448株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	720株	2023年12月期	663株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	19,274,675株	2023年12月期中間期	19,263,310株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費やインバウンド需要の回復が持続し、企業の設備投資も底堅く推移しました。一方で、世界経済の不確実性は依然として高く、特に中国経済の成長鈍化や欧米におけるインフレ懸念が顕在化しました。また、日本国内では円安基調が続く中、原燃料価格の高騰に起因する物価上昇という景気押下げ圧力により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、PC市場の回復が顕著に見られるものの、その足取りはいまだ不安定な状況でありました。

このような状況におきまして、当社グループは、上位機種ノートPC・タブレット向け、車載向けを中心とする光学製品やクリーンエネルギー車向け特殊フィルム製品などの高付加価値製品の販売促進活動を世界各地の拠点で強化するとともに、生産性の向上と新規事業に対する研究開発に努めました。

地球の絆創膏事業においては、一般住宅向けの受注を停止し、企業向けについても方針を変更することといたしました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高は9,648百万円(前年同期比30.5%増)、営業利益は2,063百万円(前年同期比248.3%増)、経常利益は2,567百万円(前年同期比176.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,577百万円(前年同期比152.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[光学シート事業]

「ノートPC・タブレット」向けは、高性能な直下型ミニLED液晶ディスプレイ向け複合拡散板「オパスキ®」の複数の案件で引き続き量産出荷を進めており、さらなる新規採用獲得に注力した結果、新たな受注を獲得いたしました。また、従来型の液晶ディスプレイ向けの光拡散フィルム「オパルス®」についても、市場の回復による需要増に加えて既存取引先におけるシェアアップや複数の案件での量産出荷に至りました。

「スマートフォン」向けは、光拡散フィルム「オパルス®」の売上が減少いたしました。また、「モニター・他、高機能フィルム」向けは、車載向けの販売促進に努めた結果、「オパルス®」に加えて「オパスキ®」の売上也増加し、特殊な機能を有する新製品を含めて売上が増加しました。

その結果、売上高は7,597百万円(前年同期比40.8%増)、セグメント利益は3,648百万円(前年同期比81.0%増)となりました。

[生活・環境イノベーション事業]

クリーンエネルギー車向けの当社特殊フィルム製品を採用した車種が増加し、医療衛生向けフィルムの需要が増加したことにより、収益性と成長性が高い分野での売上が増加いたしました。これにより、製品構成に占める高付加価値製品の比率が上昇いたしました。また、医療衛生向けフィルムにつきましては、さらなる受注に対応するために製造設備を追加する予定にいたしております。

その結果、売上高は1,920百万円(前年同期比1.4%減)、セグメント利益は143百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

[地球の絆創膏事業]

地球の絆創膏事業においては、一般住宅向けの受注を停止し、企業向けにつきましても、従来の施工結果と自主点検の結果から中長期的な視点でより良い事業・製品サービスに育て上げるために施工方法の改良、生産設備の改善を優先し、対象とする屋根の絞り込み(セグメンテーションとターゲティング)を行い、改善改良が終了したのから順次販売再開の後、対象とする屋根を広げる方針に変更いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間の売上高は22百万円にとどまりました。

その結果、売上高130百万円(前年同期比158.8%増)、セグメント損失214百万円(前中間連結会計期間は165百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産合計は、商品及び製品が210百万円、建設仮勘定が1,509百万円それぞれ減少したものの、建物及び構築物が1,749百万円、機械装置及び運搬具が295百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ791百万円増加し、30,058百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、未払金が416百万円増加したものの、電子記録債務が452百万円、長期借入金が470百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ662百万円減少し、8,247百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、利益剰余金の配当により481百万円減少したものの、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により1,577百万円、為替換算調整勘定が384百万円それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,453百万円増加し、21,811百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当中間期の業績等を踏まえ、2024年2月13日に公表いたしました内容を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「第2四半期(中間期)連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,148,385	7,444,419
受取手形及び売掛金	4,932,980	4,869,670
有価証券	1,500,000	1,500,000
商品及び製品	1,381,545	1,170,998
原材料及び貯蔵品	589,669	661,031
その他	785,741	870,011
貸倒引当金	△475	△509
流動資産合計	16,337,845	16,515,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,972,163	7,721,298
機械装置及び運搬具(純額)	2,301,125	2,596,836
土地	880,315	880,315
建設仮勘定	2,616,070	1,106,898
その他(純額)	376,326	408,379
有形固定資産合計	12,146,001	12,713,728
無形固定資産	469,761	426,574
投資その他の資産		
投資有価証券	131,343	145,862
その他	249,749	331,460
貸倒引当金	△67,289	△74,458
投資その他の資産合計	313,803	402,864
固定資産合計	12,929,566	13,543,167
資産合計	29,267,412	30,058,790

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,410,022	1,315,207
電子記録債務	1,071,383	618,537
1年内返済予定の長期借入金	1,172,770	1,146,408
未払金	731,717	1,147,964
未払法人税等	523,931	727,559
製品保証引当金	161,430	185,592
営業外電子記録債務	451,196	216,885
その他	320,517	274,748
流動負債合計	5,842,970	5,632,902
固定負債		
長期借入金	2,714,321	2,243,915
退職給付に係る負債	241,185	245,315
資産除去債務	51,875	51,886
その他	59,527	73,316
固定負債合計	3,066,909	2,614,433
負債合計	8,909,879	8,247,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,881,305	3,889,768
資本剰余金	3,649,905	3,658,368
利益剰余金	12,205,643	13,301,293
自己株式	△709	△803
株主資本合計	19,736,145	20,848,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,244	46,371
繰延ヘッジ損益	28,882	△22,399
為替換算調整勘定	544,901	928,978
退職給付に係る調整累計額	10,357	9,877
その他の包括利益累計額合計	621,386	962,827
純資産合計	20,357,532	21,811,454
負債純資産合計	29,267,412	30,058,790

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	7,394,926	9,648,363
売上原価	4,587,257	5,253,330
売上総利益	2,807,668	4,395,032
販売費及び一般管理費	2,215,233	2,331,507
営業利益	592,434	2,063,525
営業外収益		
受取利息	7,651	16,471
受取配当金	11,079	1,315
助成金収入	7,048	49,441
売電収入	11,942	11,278
為替差益	312,364	451,582
その他	19,656	6,079
営業外収益合計	369,742	536,168
営業外費用		
支払利息	18,082	14,565
売電費用	5,008	4,647
支払補償費	10,465	12,107
その他	576	603
営業外費用合計	34,132	31,924
経常利益	928,045	2,567,769
特別利益		
固定資産売却益	3,022	2,715
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	3,027	2,715
特別損失		
固定資産売却損	71	—
固定資産除却損	1,342	359
減損損失	—	※1 106,000
事業再構築費用	—	※2 249,303
特別損失合計	1,413	355,663
税金等調整前中間純利益	929,658	2,214,821
法人税、住民税及び事業税	144,304	697,967
法人税等調整額	159,631	△60,540
法人税等合計	303,935	637,427
中間純利益	625,722	1,577,394
親会社株主に帰属する中間純利益	625,722	1,577,394

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	625,722	1,577,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,101	9,126
繰延ヘッジ損益	△64,688	△51,282
為替換算調整勘定	183,884	384,076
退職給付に係る調整額	△99	△480
その他の包括利益合計	127,197	341,441
中間包括利益	752,920	1,918,835
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	752,920	1,918,835
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	929,658	2,214,821
減価償却費	771,504	771,917
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△787	31
製品保証引当金の増減額(△は減少)	11,359	24,161
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△408	3,391
為替差損益(△は益)	△305,244	△95,495
減損損失	—	106,000
受取利息及び受取配当金	△18,731	△17,787
支払利息	18,082	14,565
固定資産売却損益(△は益)	△2,951	△2,715
事業再構築費用	—	249,303
売上債権の増減額(△は増加)	242,228	200,766
棚卸資産の増減額(△は増加)	165,119	△43,656
仕入債務の増減額(△は減少)	△401,637	△741,005
未払金の増減額(△は減少)	△244,750	△20,143
その他	123,513	△95,977
小計	1,286,954	2,568,178
利息及び配当金の受取額	18,753	17,904
利息の支払額	△18,074	△14,651
保険金の受取額	11,910	676
法人税等の支払額	△1,330,201	△511,146
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,656	2,060,961
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	65,257	—
譲渡性預金の増減額(△は増加)	△2,000,000	—
投資有価証券の取得による支出	△1,299	△1,363
投資有価証券の売却による収入	6	—
無形固定資産の取得による支出	△24,488	△17,168
有形固定資産の売却による収入	7,708	120
有形固定資産の取得による支出	△679,232	△1,173,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,632,048	△1,191,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△665,854	△596,768
配当金の支払額	△721,145	△481,356
その他	△34,266	△38,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,421,266	△1,017,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	407,154	420,388
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,676,816	272,435
現金及び現金同等物の期首残高	9,994,559	7,384,340
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,317,742	7,656,775

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当社は、2024年3月25日に光学シート事業における生産設備の一部建設中止を決定したことに伴い、固定資産に係る減損損失106,000千円を計上しております。

※2 事業再構築費用

当社は、地球の絆創膏事業における事業再構築のための費用を計上しております。その内訳は、棚卸資産評価損246,133千円等です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光学シート 事業	生活・環境 イノベーション 事業	地球の絆創膏 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,396,261	1,948,058	50,606	7,394,926	—	7,394,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,396,261	1,948,058	50,606	7,394,926	—	7,394,926
セグメント利益	2,016,142	179,608	△165,106	2,030,644	△1,438,210	592,434

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、報告セグメントの事業区分を「光学シート事業」及び「機能製品事業」の2事業区分に分類しておりましたが、前中間連結会計期間より、「機能製品事業」については、複数の事業部が集まり多岐にわたる製品の製造及び販売を担っていることを明確に表示するため、報告セグメントの名称を「機能製品、他」に変更いたしました。また、当社グループが重要な新事業と位置付けている、屋根やコンクリート建造物の保護シート「KYÖZIN®」の開発・製造拠点として、2022年10月14日「地球の絆創膏本部淡路ベース」が操業を開始し、これらの事業を担う「地球の絆創膏本部」に対しては、将来にわたり重点的な経営資源の配分を行い、業績評価のモニタリングを実施していくことから、「機能製品、他」から分離・独立し、「地球の絆創膏事業」セグメントを新設いたしております。なお、その他の「機能製品、他」に属する製品及びサービスについては、セグメントの事業目的をより明確化するために、「生活・環境イノベーション事業」に名称変更を行っております。

この結果、当社グループの報告セグメントは、前連結会計年度より、「光学シート事業」、「生活・環境イノベーション事業」、「地球の絆創膏事業」の3事業区分に変更し、当社グループの経営状況をより適切に表示することとしております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	光学シート 事業	生活・環境 イノベーション 事業	地球の絆創膏 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,597,173	1,920,204	130,986	9,648,363	—	9,648,363
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,597,173	1,920,204	130,986	9,648,363	—	9,648,363
セグメント利益	3,648,472	143,289	△214,335	3,577,426	△1,513,900	2,063,525

(注) 1 セグメント利益の「調整額」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費が含まれています。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
光学シート事業		
ノートパソコン・タブレット	3,977,720	5,761,780
スマートフォン	138,062	113,425
モニター・他、高機能フィルム	1,280,478	1,721,966
小計	5,396,261	7,597,173
生活・環境イノベーション事業		
包装資材	775,011	777,185
工程紙・建材	695,698	672,475
クリーンエネルギー資材	384,047	370,509
農業資材・他	93,301	100,032
小計	1,948,058	1,920,204
地球の絆創膏事業		
屋根補修材・他	50,606	130,986
小計	50,606	130,986
中間連結損益計算書計上額	7,394,926	9,648,363